



横浜のチャレンジする中小企業を応援します!!

IDEC
YOKOHAMA
(横浜市中小企業支援センター)

NEWS LETTER

NO.27 AUTUMN 2018

(年4回発行)

ニュースレターのバックナンバーは
こちらのQRコードから



[発行]公益財団法人 横浜企業経営支援財団 〒231-0011 横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター7F TEL.045-225-3700 FAX.045-225-3737

I・TOP 横浜

～総力を挙げて中小企業のIoT化支援にあたっていきます～

■「I・TOP 横浜」発足から1年



I・TOP 横浜は、IoT ビジネスを目指す企業・団体や大学などの連携を実践する場として平成30年度に活動を開始。この7月、発足1周年を記念して、「I・TOP 横浜オープンフォーラム」を開催しました。

フォーラムでは、「自動運転プロジェクト」「未来の家プロジェクト」など、社会・生活における課題解決の取り組み成果の報告を行うとともに、横浜市では「I・TOP 横浜・セカンドステップ」を発表しました。

生産年齢人口の減少が進むなか、持続・成長可能な社会を実現するため、スポーツ・健康や、中小製造業の生産性向上をサポート、また中小企業とITベンダーとのマッチングの促進を目指します。展示会やセミナー、地元団体との共催イベントなど、あらゆる機会を活用して、オープンイノベーションを創出することを目標としています。

■スマートものづくり応援隊による支援

中小製造業の生産性向上プロジェクトの中核をなすのが、IDEC 横浜が実施している「スマートものづくり応援隊」事業です。「IoT化支援アドバイザー育成」と「アドバイザー

の市内企業派遣」の2本立てとなっており、中小製造業のIoT導入・活用の支援を目的に、生産性向上など、現場が抱えている課題の抽出と、どのような工程でIoTが使えるのかを具体的にアドバイスします。

アドバイザー育成スクールでは、テキストを使った座学に加え、ITベンダー8社による「使えるIoT支援ツール」の紹介や、超小型PC「ラズベリー・パイ」と、温度・湿度・電流センサー・ドア開閉入力装置などを組み合わせたIoTキットを使った実習を行っています。スクール修了後は派遣先企業の状況に合わせ、具体的なIoT導入をサポートします。

アドバイザー派遣事業は、2018年10月下旬から2019年3月までを予定。対象は横浜市内の中小製造業で、自社のIoT化や業務改善に関心を持ち、アドバイザーと一緒に考え、取り組んでいただける企業です。1社あたり最大5回まで利用できます。派遣をご希望の方はぜひご一報ください。



スマートものづくり応援隊での実習

「イノベーション先進都市」^{しんせん}深圳、視察報告 ～新しいアイデアを世界のどこよりも早く、安く～

近年、最新技術の発信地として「爆速進化」を遂げている^{しんせん}深圳に世界が注目しています。深圳は20～30代が人口の65%を占め、「ハードウェアのシリコンバレー」と呼ばれています。

IDEC 横浜は昨年11月の上海・^{しんせん}深圳視察に続き、7月に^{しんせん}深圳に焦点を絞り、ソフトウェア企業15社の代表者等から成る視察団(7/24－27)を派遣しました。6月には事前勉強を兼ねたセミナーを開催し、東京大学の伊藤 亜聖准教授などから、実体験に基づく現地最新情報を紹介しました。



6月のセミナーで講演いただいた宝安区の電子機器受託製造会社ジェネシスの工場オープンデーに参加。藤岡淳一代表からは、「これから起業家は日本と^{しんせん}深圳のそれぞれの良いところをフラットに使うことが理想。せっかく魅力的なサプライチェーンが近くにあるのだから、これからの仕事やプロジェクトに活かしてもらえると嬉しい。仕事でもプライベートでもとにかく自分の足を運んで欲しい。」とのメッセージがありました。また、南山区のテンセントの coworkingスペース、DJI、seedなどの世界的有名企業や顔認識やレーザーディスプレイ技術分野の新興ベンチャー企業などを訪問したほか、無人コンビニ体験や最新ショッピングモールを視察し、^{しんせん}深圳人のライフスタイルを体感しました。

参加者からは、「開発者の多くが20代で、研究開発の雰囲気溢れた活発な町だと感じた」「新製品の企画から量産までわずか1か月という^{しんせん}深圳の開発スピードに驚き、危機感を感じた」「中国ビジネスをする上では良いパートナー探しが大変だと感じた」などの感想がありました。参加メンバーは^{しんせん}深圳企業との人的ネットワークが構築できたとともに、各社が次に何をし



なければならないかを考えるうえでの刺激を受けたようです。

IDEC 横浜はサポートデスクと連携し、しっかりサポートしますので、^{しんせん}深圳のイノベーションエコシステム[※]の活用などを検討したい企業は、お気軽にご相談ください。

[※]イノベーションエコシステムとは企業、起業家、投資家、研究機関、政府等が結びつき相互利用するなかでイノベーションが創出される様子を生態系(エコシステム)になぞらえたもの。



^{しんせん}深圳市について

- ・総人口：1,300万人
- ・平均年齢：32歳
- ・面積：1,953Km²
- ・GDP：22,438億元

【IDEC 横浜 中国^{しんせん}深圳サポートデスク】

xyZing.innovation(翼彩創新科技(^{しんせん}深圳)有限公司)CEO 川ノ上和文氏



^{しんせん}深圳の成長スピードは早く、1年でビジネス環境が変わります。効率的かつスピーディーに情報を集め、意思決定に役立ててください。

20歳の時に北京へ留学、その後北京、上海、台湾、^{しんせん}深圳で活動後、2017年に^{しんせん}深圳でエクサイジング(翼彩創新)を創業。ドローンをはじめ新興産業調査や現地ネットワークの開拓、キーパーソンや業界団体との関係強化等のコミュニケーションサポート業務を手がけている。

【IDEC 横浜海外サポートデスク】

中国、タイ、ベトナム等の現地情報収集や調査が必要な際は、IDEC 横浜の海外サポートデスクをご利用ください！ご相談内容に応じて、海外提携先と連携して対応いたします。

サポートメニュー

- ・貿易・投資・技術提携などのビジネス相談
- ・ビジネス視察の調整、現地事情のレクチャー
- ・見本市、商談会の出展支援など
- ・情報提供の収集や不動産物件情報提供

Pick Up

事業承継について、まずは相談してみませんか？

IDEC 横浜では、今年度から毎週木曜日に無料の「事業承継相談窓口」を設置しました。こちらの窓口では、専門の事業承継相談員が経営者や後継者からの事業承継にまつわる様々なご相談に対応するほか、企業を訪問してのご相談も承っています。



「経営課題から考える事業承継」セミナー

事業承継には企業ごとに様々な課題があり、後継者のこと、税務に関することなど多岐にわたるため、経営者にとっては何から手を付ければ良いのか迷

うことも多いと考えられます。

そのような時に IDEC 横浜の事業承継窓口にご相談いただければ、経験豊富な相談員が企業の課題整理のお手伝いをし、スムーズな承継に向けての優先事項を経営者とともに考えていきます。

また、各金融機関と連携した「事業承継セミナー」を企画・運営し、事業承継に取り組みきっかけとなるよう、市内各地で開催しています。

事業承継には後継者の育成を含め、5～10年を要するものと言われていています。まだ早いと思わずに、企業の将来を考える第一歩として、IDEC 横浜の事業承継支援事業をぜひご利用ください！

事業承継相談窓口の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/keiei/madoguchi.php>

問 経営支援担当 045-225-3714

ビヨンドザリーフ 初の実店舗を横浜にオープン

手編みバッグを製造販売するビヨンドザリーフ(港北区)が、7月末、横浜市港北区(東急東横線日吉駅徒歩2分)に工房を兼ねた店舗をオープンしました。同社のビジネスモデルは、在庫を持たないWEB上からのオーダーメイド方式で、製造を担っているのは横浜のシニア女性のグループ。注文から手元に届くまで時間がかかるものの、1点1点手編みされるバッグとして人気が高く、次第に顧客から「手に取って商品を見たい、作り手の話を聞きたい」などの要望が寄せられるようになりました。そこで楠社長は「顧客と作り手、地域のつながりを生む場所」として店舗設置を決意、IDEC 横浜も物件検討や施工業者のマッチング、助成金活用などの支援を行いました。

「高齢者の社会参画」や「女性活躍」をコンセプトにした同社の取組やビジネスモデルは、「横浜ビジネスグランプリ 2017」で女性起

業家賞を受賞するなど多方面で高く評価されています。「今後は拠点を増やし、高齢者や女性が一層活躍できる社会創出に向け、事業の成長を加速させていきたい」と語る楠社長。社会性とファッション性を両軸とした、同社の取組のさらなる広がりが楽しみです。

【株式会社ビヨンドザリーフ (<https://beyondthereef.jp/>)】



楠社長(右から2番目)と作り手の皆さん 魅力的な商品が並ぶ店内

販売支援に関する事業の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/keiei/hanbai/gaiyou.php>

問 地域密着型支援担当 045-225-3725

IDEC 横浜
上海事務所レポート

噴霧乾燥技術を横浜から上海へ！～中国で活躍する横浜企業～

液体を乾燥し粉体にする「スプレードライヤー」を製造する大川原化工機(都筑区)は、電子部品から食品、医薬品まで多岐にわたる材質の粒子を、均一な球状にする技術が特徴です。1980年に設立し、その後経営規模を拡大するため1996年に中国企業との合併会社を上海に設立しました。業界ではトップシェアを誇る同社の技術力の高さが評価された事で、中国企業からの受注が増え、右肩上がりの成長を遂げています。2018年は、初めて中国の販売台数が日本の販売台数を上回りました。祝嘉敏総経理は1995年に入社し、合併会社設立当初から携わって

いますが「中国で合併企業を20年以上にわたり存続できているのは、合併先との良好な関係作りが成功の大きな要因と言える」と語ります。

日本語が堪能な祝総経理は関東学院大学(金沢区)に留学していた経験があり、横浜への思い入れが深いです。IDEC 上海事務所では今年初めて関東学院大学から人間環境学部4年生の藤掛未来さんをインターンシップとして受け入れ、プログラムの一環として同社への企業訪問を行いました。時間を越えた先輩・後輩との思わぬ出会いが実現し、話に花が咲きました。

IDEC 横浜では、上海市との友好都市提携45周年となる機会を捉え、上海進出市内企業の現状把握と支援のため、積極的に企業訪問を行います。



祝総経理(左)と横浜本社の古川常務(右) スプレードライヤー(後方)

上海事務所の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/shanghai/>

問 国際ビジネス支援担当 045-225-3730

■ Pick Up



横浜ビジネスグランプリ 2019 ビジネスプラン募集中! 「目指せグランプリ!」

「横浜ビジネスグランプリ 2019」のビジネスプランを募集しています。(～11/5(月) 17時必着)

応募書類等については、IDEC 横浜ホームページからダウンロードしてください。

IDEC 横浜では、応募に必要な事業計画作成のアドバイスなどを無料で行っています。

皆さまのご応募をお待ちしております。



横浜ビジネスグランプリ 2019の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/kigyoybg/>

問 経営支援担当 045-225-3714

超音波画像で「見る・観る・視る」

インキュベーション施設「横浜新技術創造館 リーディングベンチャープラザ (LVP)」入居企業 グローバルヘルスのご紹介

元スポーツトレーナーの経歴をもつグローバルヘルスの田中社長は、筋肉や脂肪の状態を画像で見ることができ、超音波技術の有効性に着目し、「いつでも・どこでも・誰でも簡単に使える」をコンセプトに非医療用超音波画像装置「みるキューブ」を開発、製品化。生活習慣の改善などに役立てるため、腹部や大腿部に機器（プローブ）を当てるだけで測定できるようにし、「皮下脂肪が何ミリ減ったのか」、「筋肉の霜降り具合」（運動不足度）などの結果を“見える化”しました。



超音波画像装置「みるキューブ」

現在、同社では従来の「みるキューブ」と比べ、手のひらサイズに小型化した家庭用のモバイル開発を進めており、画像やデータ解析などをクラウド

サービスにより提供することを目指しています。

また、LVP入居をきっかけに、IDEC横浜の支援メニューを活用し、今年オープンしたトレーニング・ジムでの機器開発（筋肉厚や皮下脂肪厚を測定する機能など）にも携わるなど、事業拡大に取り組んでいます。

田中社長は「今後、海外展開も計画するなか、どれだけ実績とデータを積み重ねられるかが大事になってくる」と語っています。

横浜新技術創造館

リーディングベンチャープラザ

入居者募集中



●多様な広さ!

50㎡～100㎡、多様なスペース

●バイオ関連事業対応!

研究開発から製品開発まで対応可

●専門家の無料アドバイス!

経営相談・技術相談・海外展開等支援

●アクセス

・JR鶴見線「鶴見小野駅」から徒歩5分

・首都高速横浜線「生麦インター・汐入インター」から5分

(鶴見区末広町1-1-40 TEL: 045-508-7450)

その他の施設の詳細は、IDEC横浜ホームページ <http://www.idec.or.jp/>「施設案内」メニューから、各施設の入居募集案内をご確認ください。お問合せは、施設経営担当 TEL: 045-225-3710 まで。

横浜新技術創造館 リーディングベンチャープラザ (LVP) の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/shisetsu/lvp/> 問 鶴見末広センター 045-508-7450

(広告) 広告の内容に関する一切の責任は、広告主に帰属します。

横浜の中小企業の「明日」を身近でサポート

● 運転資金の調達 ● 最新設備の導入 ● 経営上のお悩み



信用保証協会は、中小企業・個人事業主のみなさまが金融機関から事業資金を借入する際の公的な保証機関です。

お気軽にご相談ください

横浜市信用保証協会

検索



横浜市信用保証協会

横浜市中区山下町22番地
TEL: 045-662-6623



IDEC 横浜では、今年も利用者アンケート調査を実施しました。今年は、市内中小企業等の皆さまの経営課題（「人材不足」「事業承継」など）に対する取組に焦点をあてた調査をおこない、855件の回答をいただきました。ご協力いただいた皆さまに深く御礼申し上げます。今回の調査結果は、今後の事業の改善や企画の参考とさせていただきます。また、結果はホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。URL: http://www.idec.or.jp/whats_new